

白みりんミュージアム施設整備

基本方針（案）

流山市

1 基本方針について

流山市(以下、「本市」という。)は、流山3丁目358番 1 他に白みりんミュージアムの整備を計画しています。基本方針は、施設に導入する機能や整備手法などの基本的な考え・方向性等を整理したものです。

※市民参加手続き等により、今後内容に変更が生じる可能性があります。

2 施設の基本的な考え方等について

当該施設を整備する基本的な考え方や施設で実現したい目的・役割について説明します。

(1) 基本的な考え方

流山本町地域は、江戸時代に舟運や醸造で栄えた流山の中心地で、特に「白みりん」は流山本町地域が発祥の地であり、現在も市の特産品です。市では白みりんの PR イベントなどを継続的に実施していますが、白みりんを感じられる飲食店やプログラムの少なさ等から、白みりんを目的に市を訪れる観光客は少なく、市全体の盛り上がりにはつながっていません。

また、実際に白みりんを使った料理を食べたり、白みりんの生産工場があるのに見学ができない、どこに行けばよいか分からないという観光客の声が聞かれています。これは、白みりんの使用に関して基準やルールがなく、流山にある店舗がそれぞれ自由にみりんを使った料理・スイーツを提供していることのほか、発祥の地ならではの白みりんの体験や見学、学習プログラムがないことが影響していると考えられます。

そこで、白みりんについて学んだり体験できる施設として、白みりんミュージアムの整備を進めます。ミュージアムでは、みりんの製造過程の映像や一部実演で見学したり、白みりと流山の歴史や文化、醸造家たちの思いや取り組みなどのほか、白みりん自体の料理への効果や栄養、味などを体験したり、流山でしか手に入らない白みりんのお土産販売、江戸時代に使われた大樽などの実物を展示したりと、全国的にも希少性の高い施設を目指します。また、ミュージアムを流山本町のランドマークとすることで、本施設を拠点に、流山本町の回遊を促すことを目的とします。

初めて流山を訪れた観光客が、「ここは白みりんのまちなんだ」と感じられるような流山ならではの観光資源による交流人口の増加を目標に、ひいては住民の地域愛・郷土愛の醸成につなげていくことを目指します。

(2) 白みりんミュージアムの整備に向けて

① 白みりん発祥の地である認知度

イベント参加者向けアンケートの調査結果(令和元年 10 月及び 12 月に市内で開催されたイベント参加者(市内及び市外住民)に対するアンケート結果)では、本市が白みりん発祥の地であることについての認知度は、市民は 82.2%と、市民への浸透度は男女問わず、また多くの年代において高い数値となりました。特に、新たに移住してくる人が多い流山おおたかの森エリアでも認知度は 85.0%となっており、これは、各種イベント等を通じたプロモーションが一定の成果を上げていることを示しています。一方、市外住民の認知度をみると、34.3%と認知度は低い数値となっております。

また、首都圏住民(市外)向けWEBアンケートの調査結果(令和元年 11 月 25 日～12 月 3 日の期間で県内及び県外住民それぞれ500人に対するWEBアンケート結果)では、市外住民の認知度が、県内の市外住民は 21.8%、県外住民では 12.2%と大きな差異があります。近隣の東葛エリアは 27.0%、千葉市や船橋市などの湾岸エリアでは 16.5%となり、他県の埼玉県東部エリア(10.0%)や茨城県西部エリア(8.0%)では 1 割以下になるなど、流山市からの距離が離れるに従い認知度は低く

なっています。

② 白みりんの歴史や商品への興味・関心

イベント参加者向けアンケートの調査結果によると、白みりんの歴史や白みりんを使った料理やお土産への興味・関心があるのは全体で69.5%ですが、市民は75.3%と高く、認知度とあわせて白みりんの市民の関心の高さが示されています。また、認知度とは異なり、市外住民についても59.8%と半数以上の興味・関心があることがわかります。さらに、性別では、特に女性が72.2%と、男性の64.5%を7.7ポイント上回るなど、女性の関心が高いことも特徴といえます。白みりんを使った商品には、一定のポテンシャルがあることが認められ、特に、女性の嗜好やニーズを踏まえた商品開発が求められます。

【白みりんの歴史や商品への興味・関心(属性別)】

(単位：%)

		ある	非常にある	多少ある	あまりない	全くない
全体		69.5	15.8	53.7	25.1	5.4
性別	男性	64.5	17.8	46.7	27.8	7.8
	女性	72.2	14.8	57.4	23.7	4.1
年齢	10・20歳代	53.5	7.1	46.4	35.7	10.7
	30歳代	63.0	9.2	53.8	32.8	4.2
	40歳代	78.5	20.2	58.3	16.7	4.8
	50歳代	100.0	27.3	72.7	-	-
	60歳以上	76.5	47.1	29.4	11.8	11.8
居住エリア	市民	75.3	17.9	57.4	21.0	3.7
	おおたかの森エリア	73.8	15.0	58.8	25.0	1.3
	中部他エリア	77.8	22.2	55.6	16.7	5.6
	東部エリア	62.5	12.5	50.0	25.0	12.5
	南流山エリア	87.5	12.5	75.0	12.5	-
	南部他エリア	82.6	26.1	56.5	8.7	8.7
	北部エリア	66.6	33.3	33.3	33.3	-
市外住民	59.8	12.4	47.4	32.0	8.2	

(3) 当該施設の役割(内容)

本市における白みりんの現状と課題及びニーズを踏まえ、当該施設に求められる役割について整理します。

【観光の拠点となる白みりん体験型観光施設】

・白みりんを主役とした、体験型のミュージアムとすることで、当該施設を目的とした観光・交流人口の増加を目指し、本施設を拠点に流山本町の回遊を促すことに努めます。

【白みりんの魅力発信】

・白みりんの料理への効果、調理方法、栄養や味などを体験することで、白みりんの様々な魅力を発信し、多くの人に白みりんを活用してもらえるように努めます。

【住民の郷土愛・流山愛の醸成】

・白みりん誕生～現在までの歴史を学び、また、流山市と白みりんの関係を知ることによって、シビックプライドの向上を目指します。

【地域等との連携】

・白みりにゆかりがある観光資源や白みりんを活用している地元店舗と連携することで、市全体で白みりんの魅力発信することに努めます。

・市内小学校と連携して、学習の一環となるような当該施設の利用方法の構築に努めます。

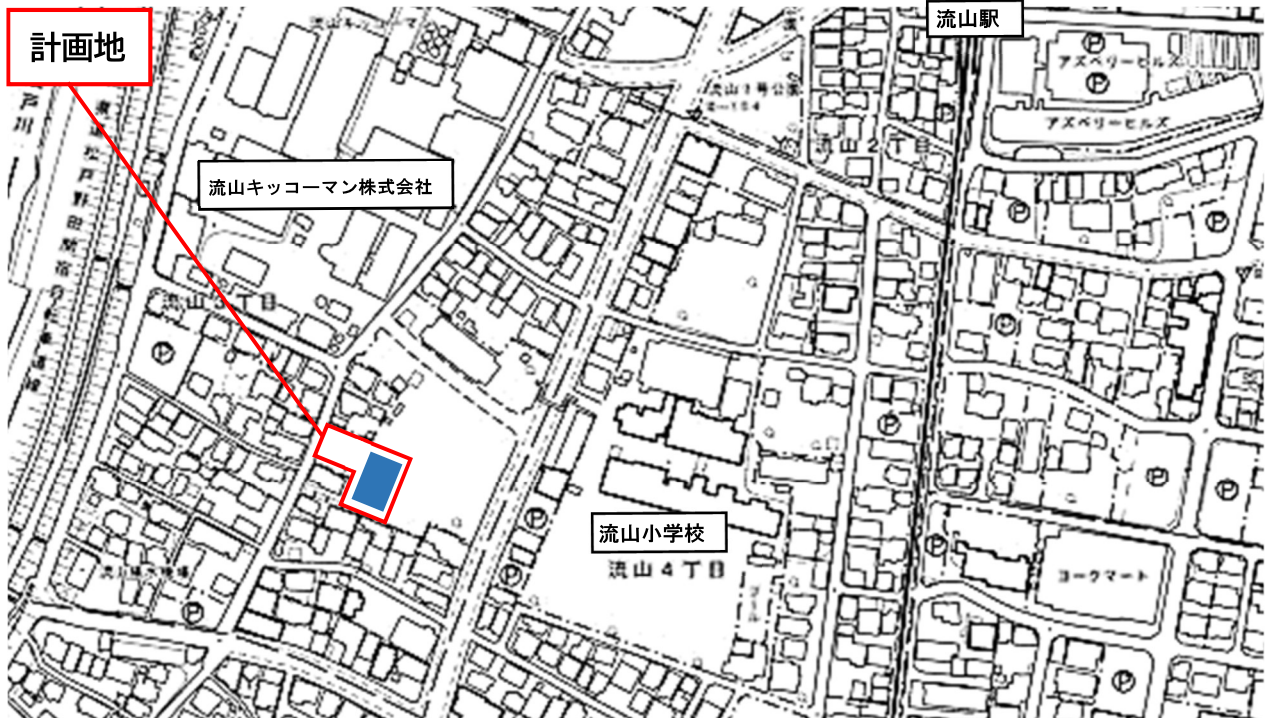
3 施設整備の概要について

今回計画している施設の場所や開設時期など整備概要について説明します。

(1) 施設整備の場所等

■ 整備場所・位置

流山市流山3丁目358番1他



■ 整備面積

敷地面積:約 1,500㎡

建築面積:約 600㎡

■ 整備後のイメージ



※上記のパスは現段階のイメージであり、今後変更となる場合がありますので参考としてください。

(2) 開設時期（予定）

令和6年度

(3) 施設に導入する諸室・機能

今回計画している施設の場所など整備概要について整理します。

■ 導入諸室・機能

『2 (3) 当該施設の役割（内容）』を具体化するため、以下の諸室・機能を導入検討します。

※ 各諸室に【 】として規模の目安を入れています。

白みりん体験プログラム機能

● 【※①】

白みりんを使用した料理体験プログラムが可能なキッチンスタジオ等を設けることを検討します。

白みりんの学習コンテンツ

● 【※②】

流山市が白みりんによって隆盛を極め、歴史的著名人が訪れたことなどをデジタル技術で伝えるコンテンツの映像や白みりんの製造工程の一部再現体験のできる展示のブースを設けることを検討します。

白みりんに関する歴史的資料の展示

● 【※③】

江戸時代の白みりん商品ラベルや木桶など歴史的資料を展示するブース等を設けることを検討します。

白みりんを味わう、流山定番のみりん土産の販売

● 【概ね 100 m²程度】

白みりんを使ったスイーツや白みりんミュージアムでしか購入できない限定商品のお土産などの販売するスペースを設けることを検討します。

流山市内で白みりんを味わえる場所、関係する場所（施設）を案内

● 【※④】

流山市内の白みりんを味わえるお店や、関係する施設を案内する観光案内機能を設けることを検討します。

※①～④は併せて概ね 400 m²程度

その他、利用者の利便に資する機能

- 駐車場・駐輪場
当該施設に、車 2 台（車椅子使用者用駐車施設）、自転車 20 台程度の駐車場及び駐輪場を設置します。
- その他
職員事務室・トイレ（男・女・バリアフリートイレ）・倉庫・総合案内等を設けます。

（４） 賃料及び賃貸借期間の設定

キッコーマン株式会社に支払う施設賃料及び賃貸借期間について、次のとおり設定します。

- ① 年間賃料
無償予定
- ② 賃貸借期間
30年間程度

※ 上記①・②については、市として想定する金額及び期間を算出しています。よってキッコーマン株式会社との協議により今後、変更となる可能性があります。

（５） 管理運営の検討

指定管理者制度や業務委託など、民間活力による管理運営を検討します。

（６） 開館時間等の検討

市内の博物館や展示施設の開館時間を参考とし、開館時間の検討をしていきます。

参考 博物館

開館時間 午前9時半から午後5時まで

閉館日 月曜日（祝日の場合は翌日）・年末年始

一茶双樹記念館

開館時間 午前9時から午後4時50分まで

閉館日 月曜日（祝日の場合は翌日）・年末年始

4 利用者の費用負担について

入館料については、受益者負担の観点から有料です。体験できるプログラムの利用料については、有料化を予定しています。

費用の設定では、流山市及び他自治体、民間施設での類似施設における事例を参考に、当該施設における費用を設定します。

5 今後の留意事項について

今後、施設整備を進めていく上での留意事項を説明します。

- ・ 当該事業を進めるには、流山市市民参加条例に基づき市民の声をより取り入れて施設整備

に活かしていく必要があります。

- ・ 住民の地域愛・郷土愛の醸成につなげていくため、また、流山ならではの観光資源とするため、白みりんについて学んだり体験できる展示空間の検討、設計業務を行う必要があります。
- ・ 国庫補助金の活用等により、財源確保に努めます。
- ・ 建物の賃借期間設定では、継続性を持った事業展開を行うための期間設定を目指す必要があります。